



- 記者発表資料 -

第15回 港湾空港技術講演会 in 関東2022 を開催します

国土交通省関東地方整備局、国土交通省国土技術政策総合研究所及び国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所の共催により「港湾空港技術講演会 in 関東 2022」を下記のとおり開催します。

本講演会は、港湾・空港分野に関する最新の研究・技術開発の取り組み状況をわかりやすくご紹介することを目的としており、今回で15回目の開催となります。

今回は、「未来を拓く海洋・航空の最新技術」をテーマに、自動運航船の将来展望や次世代エアモビリティはどうなっていくのか、港湾工事におけるCO2削減に関する検討、空港アスファルト舗装の一層最大施工厚及び空港地盤改良工事の隆起管理方法などについて講演いたします。

記

■日時: 令和4年11月28日(月) 13:10~16:50 (受付開始12:50)

■会場: TKPガーデンシティPREMIUMみなとみらい ホールF
(横浜市西区みなとみらい3-6-3 MMパークビル 5階)
及び オンライン開催

■内容・申込方法: 別紙リーフレットのとおり
<※港空研HP 講演プログラム、参加申込URL>

<http://www.pari.go.jp/event/seminar/2022/chiiki-kouen-2022/2022kanto-p.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

海洋環境・技術課 課長補佐

海洋環境・技術課 係長

電話 045-211-7420

ねりお しんいちろう

練尾 伸一郎

ただ かずまさ

多田 和正

こだま みちひさ

児玉 道久

第15回 港湾空港技術講演会 in 関東2022

○日時： 令和4年11月28日(月) 13:10～16:50

○会場： TKPガーデンシティPREMIUMみなとみらいホールF 及び
オンライン開催(Microsoft Teamsによる Web方式)

○定員： 会場60名、オンライン100名(先着順、定員に達し次第
締め切らせて頂きます。)

共催： 国土交通省 国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
国土交通省 関東地方整備局

参加
無料

○講演内容

テーマ『未来を拓く海洋・航空の最新技術』

13:10～	開会の挨拶	関東地方整備局 副局長 (国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 所長	石橋 洋信 河合 弘泰
13:25～	『自動運航船の将来展望』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所 知識・データシステム系 副系長(前自動運航船PT長)	國分 健太郎
13:50～	『ゆくゆく空 ～次世代エアモビリティは どうなっていくのか～』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所 航空交通管理領域 領域長	福島 幸子
14:15～	『港湾工事におけるCO2削減に関する検討』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域 構造新技術研究グループ長	川端 雄一郎
14:40～	質疑		
14:55～	休憩		
15:10～	『杭の施工管理に関する最近の研究』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 地盤研究領域 基礎工研究グループ長	水谷 崇亮
15:35～	『港湾点検を目的とした水中ロボットの研究』	(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 インフラDX研究領域 メタロボティクス研究グループ 研究官	喜寿 司
16:00～	『空港アスファルト舗装の一層最大施工厚及び 空港地盤改良工事の隆起管理方法について』	国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港施設研究室長	坪川 将丈
16:25～	質疑		
16:40～	閉会の挨拶	国土技術政策総合研究所 副所長	高野 誠紀

※内容は一部変更する場合があります

◇お申し込み方法

参加を希望される方は、港空研(HP)(◆講演プログラム、参加申込)から、必要事項を記入してお申し込みください。本公演はCPDプログラムに参加しております。オンライン参加の方は本講演に関するアンケートに回答いただくことで申請が可能となります。

・申し込み締切: 11月21日(月)

・申込先URL : <http://www.pari.go.jp/event/seminar/2022/chiiki-kouen-2022/2022kanto-p.html>

◇お問い合わせ先

関東地方整備局 海洋環境・技術課 多田、児玉
TEL 045-211-7420



土木学会 CPDプログラム
認定番号 JSCE22-1469(3.0単位)

